

『ごぼう入りヤンニョムチキン丼』『キンパ風ホタテ丼』の販売・お披露目会について

「青森県産品を使った商品開発」をテーマとした副専攻プログラム『6次産業化マイスター育成』を履修している弘前大学の学生10名が、新メニュー『ごぼう入りヤンニョムチキン丼』および『キンパ風ホタテ丼』を開発しました。

これらのメニューは弘前大学学生会館1階 文京食堂において7月14日（火）から販売となり、同日、福田学長はじめ役職員を対象としたお披露目会を開催しました。

はじめに担当教員からプログラム概要の説明があり、その後学生から商品開発に至る経緯や工夫した点について説明が行われ、参加者は実際に試食をしながら耳を傾けました。

参加者からは、「非常においしい」「普段ごぼうをあまり食べないが、これはおいしく食べられる」といった感想が寄せられたほか、県産ホタテを使用した商品開発への評価や、食堂での提供体制、今後の継続販売の可能性などについても期待を込めた意見が寄せられました。

『ごぼう入りヤンニョムチキン丼』および『キンパ風ホタテ丼』は、7月14日（火）から16日（木）までの期間限定で、文京食堂にてそれぞれ税込616円で提供されています。

「青森県産食材と海外料理のコラボレーション」をコンセプトに、青森県産のごぼうやホタテの魅力を生かしながら、学生が試行錯誤を重ねて完成させたメニューです。

学生や教職員をはじめ、本学にお越しの皆様には、ぜひお召し上がりいただき、学生の学びの成果をご体感いただければ幸いです。



<新メニュー『ごぼう入りヤンニョムチキン丼』（写真左）
『キンパ風ホタテ丼』（写真右）>



<販売宣伝用ポスター>



<新メニュー開発の経緯を説明する学生>



<試食及び感想を述べる役職員>